

第 3 回 県有施設・県出資団体等調査特別委員会資料

公の施設等について
～個別施設の現状と課題、その対応方針～

(土木部)

令和 5 年 9 月 25 日 (月)

○施設名 大洗公園

1 現状

(1) 大洗公園の概要

○ 大洗公園は、緑の松林と、本県の代表的な景勝地の一つである大洗海岸を有する美しい公園であり、県立自然公園にも指定されている風致公園（※）である。

※風致公園とは、主として風致の享受の用に供することを目的とする都市公園（都市公園法施行令第2条）



図 大洗公園位置図



写真 大洗公園全景

[施 設]

○ 大洗公園内には、年間 100 万人が訪れるアクアワールド茨城県大洗水族館、大規模駐車場、トイレ等があり、県内外から多くの利用者が訪れる。

特に、夏季は水族館や大洗海岸の利用が多いため、駐車場を有料化して交通誘導員を配置し、本公園内の安全で円滑な交通の確保を図っている。

(参考) 大洗公園の概要

項 目	内 容
名 称	大洗公園（風致公園）
所 在 地	東茨城郡大洗町磯浜町
敷地面積	40.4 h a
うち指定管理区域	34.9 h a
開園年月日	昭和 32 年 6 月 21 日
主な施設	アクアワールド茨城県大洗水族館（管理許可施設） 駐車場（1,853 台：夏季有料（7～8月））、トイレ（4基） など

[管理運営]

○ 県では、平成 21 年 4 月から指定管理者制度を導入している。現在の指定期間は平成 31 年度から令和 5 年度であり、指定管理者は茨城県造園業協同組合。

○ なお、現在の指定期間が、令和 6 年 3 月 31 日をもって満了となることから、令和 6 年 4 月 1 日以降の指定管理者の指定手続きを行っているところ。

(参考) 大洗公園の管理運営状況

開 園 ～ 平成 21 年 3 月 : 県が直営で管理運営
平成 21 年 4 月 ～ 現 在 : 指定管理者による管理運営



図 大洗公園平面図

[利用状況]

- 年間 100 万人が訪れるアクアワールド茨城県大洗水族館や大洗海岸等があり、多くの人々に利用されている。

(参考) アクアワールド茨城県大洗水族館の利用状況

年度	H25	H26	H27	H28	H29
入館者数 (人)	1,092,837	1,147,534	1,160,719	1,134,313	1,129,308
年度	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
入館者数 (人)	1,119,813	1,054,343	645,052	798,883	1,200,700

(参考) 駐車場の利用状況 ※夏季有料期間 (7～8月)

年度	H25	H26	H27	H28	H29
利用台数 (台)	20,861	20,846	20,648	19,348	17,278
年度	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
利用台数 (台)	18,566	16,851	—	3,647	14,409

(2) 大洗公園の維持管理

- 大洗公園の維持管理は、指定管理者による日常管理と、県による施設の修繕を行っており、指定管理料として年間約 3 千万円程度の費用を要している。

- 指定管理業務

- ・施設管理や駐車場 (夏季有料期間) の料金徴収などの運営管理業務
- ・松林等の樹木の管理やトイレの清掃などの維持管理業務

(参考) 大洗公園の指定管理料

(単位：千円)

年度	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
指定管理料	25,800	28,296	28,558	28,820	28,820

○ 施設の修繕

- ・規模の大きな修繕については、国補事業を活用しながら県が実施。
直近5か年に実施した大規模修繕工事は、防護柵の改修工事である。

(参考) 直近5か年の大規模修繕箇所一覧 (10,000千円以上)

(単位:千円)

発注年度	工事等内容	金額
H30	—	—
R1	—	—
R2	防護柵改修工事	17,604
R3	防護柵改修工事	29,993
R4	—	—

(3) 議会からの提言等

- 出資団体等調査特別委員会 (H22) では、「県有施設の管理については、県が直接管理する場合を除き、指定管理者制度により、民間事業者も含め幅広く担い手の参入を求め、県民サービス向上や施設運営の効率化を図るべきである。」との提言を踏まえ、指定管理者による管理を実施。

2 課題

(1) 将来を見据えた適切な管理運営

- 多くの県営公園は建設から年数が経過しており、施設の老朽化が進行するとともに（特に、大洗公園は海岸部のため、急速に進行）、労務費や原材料価格、エネルギーコストの上昇により、維持管理費は年々増加している。
また、社会経済情勢の変化や利用者ニーズの多様化などにより、県営公園に求められる役割が変化している。
- さらに、大洗公園では、風致公園としての景観を構成する松林を保全するため、地元大洗町等と連携しながら松くい虫対策を行うほか、水族館や大洗海岸の利用が多い夏季は駐車場を有料化して交通誘導員を配置し、本公園内の安全で円滑な交通の確保を図る必要がある。
- これらの課題を解決するため、大洗公園においては、指定管理者制度を導入し、専門的な知識を有する民間事業者のノウハウを活かした管理運営を行ってきたところであるが、引き続き、利用料金制度（指定管理者が施設の利用料金を収入（独自財源）として確保）を活用し、指定管理者が自主的な経営努力を発揮することにより、維持管理費の縮減や利用者数の増加、サービス向上を図っていく必要がある。

(2) 「ひたちなか大洗リゾート構想」を踏まえた取組の実施

- 県内随一の観光地であり、豊富な観光資源を有するひたちなか・大洗地域については、県や地元市町などの連携により、「ひたちなか大洗リゾート構想」（平成31年3月）が策定されている。
「ひたちなか大洗リゾート構想」を踏まえ、大洗公園においては、松林などの良好な景観や地域の資源を活かした公園の活性化を図っていくとともに、令和3年3月に廃止となったこどもの城（面積 2.5ha）等の未利用地の利活用を図っていく必要がある。

3 対応方針

(1) 指定管理者による効果的・効率的な管理運営

- 民間事業者のノウハウを活かした経営効率化、包括的な管理運営によるコストの縮減、利用料金制度の活用等により、県の財政負担軽減を図る。
- 専門的な知識を有する民間事業者が松林等の樹木の維持管理を行うことにより、良好な景観の保全を図る。
- 利用者の満足度を上げ、より多くの利用者を確保しようとする民間事業者の発想を取り入れること（魅力的なイベントの開催等）により、利用者に対するサービス向上を図る。

(2) 「ひたちなか大洗リゾート構想」を踏まえた取組の実施

- パーク PFI 制度※を活用し、リゾート構想のコンセプトを踏まえた、大洗公園の再整備やその後の管理運営を民間事業者が行うことにより、県の財政負担の軽減のみならず、大洗公園の活用を中心とした地域の活性化を図る。
- また、こどもの城跡地等についても、地元大洗町と利活用の検討を進めていく。

(参考) 大洗公園パーク PFI 事業の概要

- ・対象面積 : 約 7.1 h a
(うち、対象施設設置可能面積は約 3.2 h a)
- ・対象施設 : 宿泊施設、飲食施設、物販施設等の収益施設



図 大洗公園パーク PFI 事業箇所図

4 周辺への影響とその対応

- パーク PFI 事業については、選定委員会の委員に地元から複数入っていただき、公募設置等指針の策定や現地見学会を開催するなど、地元の意見を聞きながら丁寧に対応していく。

5 今後の予定

- 大洗公園の管理については、指定管理者による効果的・効率的な管理運営を基本としつつ、「ひたちなか大洗リゾート構想」を踏まえた、パーク PFI 事業や未利用地の利活用等を進めていく。